

平成25年第2回中津川市教育委員会議事録（要旨）

日 時 平成25年2月15日（金） 午後1時30分

場 所 にぎわいプラザ 4-1会議室

出席委員 田島 雅子 松田 幸博

大井 文高 横井 晃

事務職員 山内事務局長 原文化スポーツ部長
 岩久教育次長兼学校教育課長 内木子育て支援対策監兼幼児教育課長
 市岡文化スポーツ部次長兼図書館対策監
 今井教育企画課長 和田教育研修所長
 牧野スポーツ課長 田口生涯学習課長
 末木文化振興課長 幸脇阿木高校事務長
 鈴木発達支援センターつくしんぼ所長 田島発達相談室長
 小林図書館長 小栗図書館対策室長
 早川鉱物博物館長 松岡東美濃ふれあいセンター所長

会議日程 1 開 会
 2 前回議事録の承認
 3 教 育 長 報 告
 4 議 事
 5 閉 会

番号	議 題	結果
議第2号	中津川市議会（定例会）に提出する議案の意見について	承認

【開 会】

【議 事】

【委員長】

それでは議事に入ります。日程第1議第2号、中津川市議会（定例会）に提出する議案の意見について。教育企画課長、説明をお願いいたします。

〔 事務局及び各担当課長から資料に基づき説明 〕

【委員長】

それでは、この件についてご意見ご質問をいただきたいと思います。

【横井委員】

先ほど、坂本さくら保育園の新築工事の補助のことで説明がありましたが、当初と予定が変わって減額ということです。同時に補助金が2分の1から3分の2に増えたということで、そういった説明がありましたが、最初の補正した金額というのは、当初の設計に見積りに甘さがあったという判断でよろしいのでしょうか。それとも、県、国からの補助金の関係でしょうか。ちょっと理解ができなかったのですが。

【内木幼児教育課長】

歳出の方で説明させていただきました。設計の見直しによります事業費の減額につきましては、当初の9月の補正段階で設計を上げていただいておりますが、敷地の問題で、当初の建物の建てる位置を少しずらして、交通安全上の配慮が要るということもあって、その辺の内容から、場所を少し動かしたことによって、元は職員室が、園が見えるような形で、少し変わったということがありまして、その内容を検討した結果、設計が少し変わった形の中で、総事業費が変わってきた。それで必然的に補助基準額が下がってまいりました。それに伴いまして補助金の減額になりました。

それから、歳入の国の補助金ですが、当初から3分の2のプロジェクトの予算化をしようと思っていたのですが、確実な国の交付決定をいただけていませんでしたので、2分の1は確実な補助要綱に基づく補助金の負担率でした。それを12月の段階で国から正式に先取りプロジェクトの対象で、3分の2の補助金で対応しますよという決定をいただきましたので、それで今の最終的な設計の金額を、見直した金額の3分の2で見直しをさせていただいたものです。

【横井委員】

要は、歳出と歳入の金額の意図はそれぞれの理由があるということで理解してよろしいわけですね。分かりました。

【委員長】

交通安全上ということは、送り迎えに関することですか。

【内木幼児教育課長】

国道から入ってくる、200mから300m下に実際に建てるということで、少しカーブをしておりますので、出入りの際の、最初に建てる場所は道側に作るという設計だったのですが、交通安全に配慮しながらということで少し園を奥の方にずらしたということです。児童、地域、保護者の送迎ということに配慮した設計に見直しをさせていただきました。

【松田委員】

東小学校と苗木中学校の大規模改造事業について。若干お聞きしていることがあるかもしれませんが。具体的にどのようなところを直されるのかお聞きしたいと思います。

【今井教育企画課長】

東小学校はすでに北の側の棟はすでに耐震改修も行っておりますので、そこはかまわずに、南棟を対象にした改修になります。評判の悪かったトイレ臭の対策もしなければならぬものですし、暖房につきましても、今煙突ストーブを使っております。それをFF暖房に取り換えなどもあります。そういったところで、全面的に悪いところを改修していきたい。30年ぐらいいもつ内容にしたいと考えています。それから、苗木中学校につきましても2棟両方とも改修対象となっております。現状を見ますと相当コンクリートがはがれ落ちている部分もあってあまりよくない状況です。そういったところを中心にしっかり手当して、まず安全確保の部分。そして、できるだけ第一中学校あたりの改修状況を見ていただければ有り難いですがあそこのレベルまで持っていければいいなという目標も持っています。

【委員長】

図書館につきましては、返戻しなければいけないということで大変忸怩たる思いなんですけれども、期待を込めて私費を投じて寄付をしてくださった方々に感謝の気持ちをくれぐれもお伝えくださいますようお願いいたします。

それでは、ご意見ご質問いただきましたので、次に移ります。25年度の歳入歳出予算について。教育企画課長から説明をお願いします。

[今井教育企画課長から資料に基づき説明]

【委員長】

基本的なことです。FF暖房というのはどういうものでしょうか。

【今井教育企画課長】

今まで煙突ストーブで、焚いた火が二酸化炭素、暖かい空気が全部一緒に煙突から外へ流れていく。その間に部屋の空気を暖房していくというのですが、FF暖房というのは、壁面に煙突代わりの排気の穴が抜けており、そこへ燃えたガスが排気されます。熱は機械の中で交換されて室内で循環されるという機械です。

【委員長】

分かりました。それでは、学校教育課の説明をお願いします。

[岩久教育次長から資料に基づき説明]

【委員長】

学校教育課の説明をいただきました。ご意見ご質問をいただきたいと思います。

【横井委員】

今ご説明いただいた学校給食管理費の給食賄材料費というのはどういう内容でしょうか。

【岩久教育次長】

児童生徒に提供する給食の原材料を購入する費用です。市で一旦予算化して、実際のお金は保護者から徴収します。

【委員長】

学校図書館司書の配置がここで落ち着いたという言い方も変ですが、正当なところに落ち着いたわけですね。それで9名の配置ということで、司書さんたちから、あまり早い転勤をできるだけ1週間に1回だからできるだけ転勤のサイクルを遅らせてじっくりと取り組んでいきたいとおっしゃっていましたのでよろしくをお願いします。

それでは、ほかにないようですので、教育研修所の説明をお願いします。

[和田教育研修所長から資料に基づき説明]

【委員長】

教育研修所について、ご意見、ご質問をお願いいたします。

それでは、幼児教育課をお願いします。

[内木幼児教育課長から資料に基づき説明]

【委員長】

幼児教育課についてご質問、ご意見をいただきます。

歳入の、授業料延滞繰越というのが教育使用料のところにありますが、実態はどういうものでしょうか。ご説明をお願いします。

【内木幼児教育課長】

延滞料、要するに滞納のことです。最近額は少なくなってきています。それと、ずっと今までの繰越分が積み重なって、保護者のお子さんも中学を卒業していったような方たちの繰越分もありますので、その分の見直しを25年度でかけたいと思っていますが、今のところは、正式に持ってきていませんので金額的には言えませんが、2千万円以上の滞納を抱えています。今年度の滞納は、児童手当の支給を、今、申し出ということで、手当を本人に支払わずに直接振り落としという形で市に収めていただくという制度が取れるということで、児童手当から毎月授業料、保育料を納めるのがえらいという保護者については、児童手当で振替をして落とさ

せていただければ滞納にならないのでということでご理解いただきながら、今年度もかなりそれで滞納の額が少なくなってきましたので、今後もこの制度を使いながらなるべく滞納を少なくしていきたいと思っています。

【委員長】

卒園してそのまま小学校へ行って中学校へ行って、ずっと払わないというのは、罪にならないのでしょうか。ほかいかがでしょうか。

【横井委員】

一色保育園の改修をするということで予算化されておりますが、こういった中津川市立、公立の保育園の改修等については国や県から補助金なり助成金が出るものですか。

【内木幼児教育課長】

今ご指摘の、公立の幼稚園は学校の関係であるんですが、保育園は厚生労働省の関係でいくと、今のところ公立の保育園への建設費の補助は一切ありません。私立の補助金はあって予算でも説明したさくらさんには2分の1の補助金が出ます。

【委員長】

児童館についてですが、児童館の運営の委託はこれで3年目になりますね。児童館の改修という話を教えていただきたいのですが。

【内木幼児教育課長】

児童館の委託は3年間の指定管理で今年度末までで、来年度からまた新たに3年間の指定管理で、今回も同じ恵峰学園さんをお願いして決定しました。その中で、施設整備については、恵峰学園さんは3年目ということで、年度年度で委託料の見直しを行うということですので、簡易なところについてはお互いに連絡を取り合って修正しているところはあるのですが、大規模な改修では、恵峰学園さんから申し出や相談があったら改修していきたいと思っていますが、今のところは大きな改修の相談は受けていません。その代わりに、今年度は暖房器では東も西も対応させていただきましたし、そういう形の中で年度年度で協議していきたいと思っています。

【委員長】

決してピカピカのところに子どもたちが集まっているわけではない現状ですよ。子どもたちの行く場所というとやっぱり学校が済んだら児童館で、たくさんの時間を過ごす場所ですのでできるだけいい環境で過ごさせてあげたいと思いますのでよろしくお願いします。

それでは、ほかにないようですので次に進みます。阿木高校事務長。

[幸協阿木高校事務長から資料に基づき説明]

【委員長】

阿木高校についてご意見、ご質問をお願いします。それではご意見、ご質問がないようですので、発達支援センターに移ります。

〔 鈴木発達支援センター所長から資料に基づき説明 〕

【委員長】

よろしいでしょうか。それでは、発達相談室に移ります。

〔 田島発達相談室長から資料に基づき説明 〕

【委員長】

発達相談室について、ご意見、ご質問をお願いいたします。

それでは、生涯学習課長。

〔 田口生涯学習課長から資料に基づき説明 〕

【委員長】

ありがとうございました。生涯学習課についてご意見、ご質問をいただきたいと思います。

【横井委員】

歳入の国庫支出金、助成金のようなのですが、地域の元気臨時交付金という言葉が出てきていますが、この説明をお願いします。

【田口生涯学習課長】

今回、国の緊急経済対策でできた補正予算に伴う交付金です。その名前が地域の元気臨時交付金です。中津川市としても企画財務課で取りまとめておまして、市の予算枠を各課に充当してあります。それで、うちとしては公民館の設備の改修工事に当てられたということです。

【今井教育企画課長】

臨時交付金の中の元気臨時交付金は、現在の試算の中では市に対して最大で6億円程度交付される見込みとなっております。その中身は、平成25年の当初予算に計上する市単独事業の起債対象になっている事業に対しての充当で、当初予算に対しては2億4千万程度を充当予定になっています。そして、今後、25年度の補正予算に計上する予定ということで、6月補正も考えているわけですが、そこへも市単独事業として起債対象としてそれに充当していくと考えて計画しています。

【委員長】

公民館の改修工事ですが、公民館を改修してどれぐらいもたせようという計画なんですか。

【小栗図書館対策室長】

今、中央公民館と図書館を含む中央公民館の建物の改修計画を作っております。これは大規模な形で学校と同じく長寿命化に備えて概ね耐久年数が60年と言われており今30年ぐらい経っておりますので、この先25年ぐらいはしっかり使えるようにということで大規模な計画

としております。

大規模という話をしましたが、基本的には外壁にしる防水にしる、もう耐久を超えておりますので、その辺をしっかりとリニューアルするということと、中の図書館も含めた中央公民館の内部についても、開館以来あまり大きく変更しなくて設備も非常に古い、トイレも苦情が多いというご意見がたくさんありまして、そういったものを各方面検討委員会のご意見を聞きながら、その部分についてリニューアルをしたいということです。

【田口生涯学習課長】

中央公民館は屋根の改修も行う予定です。

【原文化スポーツ部長】

25年度は公民館と図書館につきましては、設計をまず行う。25年度以降について将来的に行いたい設計も含めてやっていくということです。25年度につきましては、できる工事もありますが、将来的にここまで必要かということについては、大きな工事につきましては26年度以降に施工する予定です。まずは今年、今の生涯学習課の総務費の設計につきましては、将来を見込んだ工事の中身の設計が主です。

【委員長】

できるだけ使用している方の声も聞きながらお願いします。ほかにはいかがでしょうか。それでは、図書館長。

[小林図書館長から資料に基づき説明]

【委員長】

職員研修にはどれぐらいの費用を当てていらっしゃるでしょうか。

【小林図書館長】

図書館では中堅ステップアップ研修というものに昨年から2名ずつ研修に行っておりまして、これが約1人7万円ほどです。ほかに全体で行く研修は近隣の東濃地区の研修会や県立図書館の研修などがございしますが、一番大きいところでは中堅ステップアップ研修の14万円です。

【委員長】

常にある研修ということですね。

もう一つ質問します。人件費で、1人減ったということですか。これは回っていくのでしょうか。

【小林図書館長】

このたび臨時職員の数が増えます。それは、市の契約である3年満期の該当者が1人おりますので、4年目の方がおりますので、自動的に退職ということに留め置きをしたということです。

【原文化スポーツ部長】

図書館の資料等の管理費、総務費の中ですが、臨時職員が1人減ということですが、その後、

体制等効率的な見直しの中で、25年度の嘱託職員、そのほかの臨時職員も含めて全体的に図書館運営にあたっていくという中で今回の25年度以降の職員体制としたところです。

【小林図書館長】

1名減になった臨時職員の分を、残った1名の勤務時間を増やすという形で少し対応をしていきたいと考えています。

【委員長】

とても激務だと聞いておりますので、1人減ってしまったらもっと大変かと思いましたので、皆さんの努力をお願いいたします。

それでは、続きまして、文化振興課長、お願いします。

[末木文化振興課長から資料に基づき説明]

【委員長】

文化振興課について、ご意見、ご質問をお願いいたします。

【横井委員】

歳出の、文化団体育成事業費の各文化協会、その後、地歌舞伎等という言葉があえて書いてありますけれども、どういった経緯で地歌舞伎等となっているのでしょうか。教育長も文楽をやっているらしいんですが、いろいろな団体があるわけですが、その中で地歌舞伎等になっているのは何だろうと思えますが。

【末木文化振興課長】

地歌舞伎等という部分ですが、まず歌舞伎保存会が、坂下、加子母、常盤座、蛭川、中津川市地歌舞伎連絡協議会、まずその5つがございます。そのほか、ふるさと芸能保存協会への交付金、もう一つが、中津川伝承芸能継承保存連絡会、これは旧川上分校の管理をさせていただいております、そういった部分に対する交付金でございます。合わせて7団体です。

【原文化スポーツ部長】

各種団体ということで、地歌舞伎が一番最初にございますが、先ほど課長から話がありましたように、たくさん交付金を出している団体の多い数からということで他意はございません。地歌舞伎の団体に5団体交付している。その後中津川伝統芸能保存協会さん初めいろいろな団体に支援をさせていただくところでございます。多くの団体に支援をしていくということでございますので、よろしく申し上げます。

【委員長】

苗木城についてですが、今年は2倍の修繕の費用を使うということですが、これからの展開は分かりますか。

【末木文化振興課長】

全体計画の中では平成34年度までです。事業費としましては残すところ1億6千万円ほどです。その中でまだ手のついていないところの石垣の整備、あるいは説明板等の整備を図って

まいりたいと思います。

【委員長】

お城を建てるわけではないですね。

念願の明治座が修復できるということで、雨漏りをするなどいろいろ心配をしておりましたが、手をつけていただけるということで有り難いですね。歌舞伎も岐阜県の宝物になりましたし、たくさん観光資源もあるということで、たくさんの方が来てくれるといいですね。

それではスポーツ課からお願いします。

[牧野スポーツ課長から資料に基づき説明]

【委員長】

スポーツ課についてご意見、ご質問をお願いいたします。いかがでしょうか。

それでは、鉾物博物館に進みます。

[早川鉾物博物館長から資料に基づき説明]

【委員長】

鉾物博物館等につきましてご意見、ご質問をお願いいたします。

それでは次に進めます。東美濃ふれあいセンターをお願いします。

[松岡東美濃ふれあいセンター所長から資料に基づき説明]

【委員長】

自主事業をたくさんということで予算をたくさんいただきましたということを聞いたんですけど、これは全館に通ずることなんですか。それとも東美濃ふれあいセンターだけですか。

【松岡東美濃ふれあいセンター所長】

来年度につきましては自主事業は文化会館を中心に進めております。予算につきましては全体です。高齢向けの事業を1事業増やしたい。

【委員長】

去年おばけ屋敷をなさいましたが、あれは。

【松岡東美濃ふれあいセンター所長】

あれは予算になかったもので、思いつきと言ってはおかしいですが、館の中で夏休みの企画として一つ考えたいということで、職員と、ボランティアも募集して、ボランティアは4人しか来ていただけなかったのですが、その方たちに協力していただいて、夜ふれあいセンターを真っ暗にしまして、質問形式で解いて回ってくるということでやらせていただきましたら、子どもさんは親同伴でないとだめだよということで宣伝させていただきましたら、すごい盛況に

なりまして、全体で950人ぐらい、3日間やって、1日目はさばき切れずに帰っていただくということがありまして、またできれば今年も条件が許せばやりたいなと職員間では話しています。

【委員長】

アーティストの有名な方はキャパが小さいから呼べないという話を伺っていて、非常に去年はお化け屋敷が流行りましたよね。それで、そこに目をつけられて、すごく面白い、動き始めたと思いました。企画を考えるのは文化協会の方々なんですか。

【松岡東美濃ふれあいセンター所長】

26年度以降の事業につきましては、文化事業の企画委員会みたいなものを立ち上げて、文化協会さんを中心にして、一般市民の方々も入っていただいて企画していくということでやっていきたいということで考えています。

【委員長】

それぞれの課からご説明をいただき、委員の方々からご意見、ご質問をいただきましたが、全体的に見て、ご意見はありますか。

【横井委員】

教育委員会と文化スポーツ部の予算をご説明いただきましたが、一つ知りたいのは、市全体の予算額と昨年対比、教育委員会全体、文化スポーツ全体の予算比、昨年対比です。

【山内事務局長】

全体予算の確定されたのがまだ報告されていないのでつかめていませんが、25年度予算編成の方針の中では24年度並みという予算規模だと聞いております。24年は、347億円の予算でしたので、その程度かなと思っています。またはっきりしましたらご報告させていただきます。

【原文化スポーツ部長】

概算ですが、文化スポーツ部は2億2千万円ほどの増になっています。先ほどスポーツ課で、整備費等が1億ちょっと、生涯学習課でも公民館、図書館の整備費もございます。25年度につきましては、ハードということで先行投資をしていただいたということで、約2億円ほどが増になっています。

【山内事務局長】

これも概算で申し訳ないですけど、教育委員会としても24年当初より1億5千万ほど増えています。

【横井委員】

財政が厳しい中で、今年は去年並みということですが、教育委員会、文化スポーツ部、それぞれ頑張ってください予算を獲得していただいて有り難いと思います。ただ、やっぱり、景気とかいろいろ見ますと、いずれにしても血税でありますので、無駄がないようにしっかり予算執行をお願いしたいと思います。大変ご苦勞様ですがよろしく願いいたします。

【委員長】

私も委員長を拝命してからいろいろなところにお邪魔して決算や予算を見せていただきますと、24年度の予算減に対して、無駄を省いたり我慢できることを省いたり、たとえば報告書の紙の質を落としてみたり、お茶などを出さないなど、上手に減らしておられるところと、反対に、高いところから鉈をふるったようにすっぱりと継続を切り落としているようなところと、両方目にいたしました。それぞれの工夫とは思って見せていただきましたが、だれのための事業かということを見失わないように、誠意あふれる努力をお願いしたいと思います。

【教育長】

市全体の予算編成などに関わっては、長期の展望も持ちながら、どういう市を作っていくのだという視点をもって、たとえば本年度はこういうところを重点に置くとか、そういう、もっと大きな方針というものを明確にしながら、そういうものははっきりすれば、今年是我慢しようとか、そういうのが出てくると思うんです。そういう編成をしてほしいということを今こちらとしては要望しております。

【委員長】

それでは、議第2号中津川市議会（定例会）に提出する議案の意見について、承認ということにさせていただきます。ありがとうございました。

これをもちまして平成25年度第2回中津川市教育委員会を閉会させていただきます。ありがとうございました。

〔 閉 会 〕